

# 平成31年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

## I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	被災者の方の生活の回復度については、未だ仮設住宅で暮らしている方はいるものの、特に不便は感じていないように思う。三陸道開通、鉄道の大槌駅前整備が進むと震災前より利便さや賑わいが向上するとも考えられる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	仮設住宅がなくなった。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	生活全般が落ちついたように感じる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	小学校の校庭から仮設住宅が撤去されたこと。中心市街地の整備と街にかかる橋の開通、道路の整備。皆仕事に励んでいる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	被災前に比べ(国道・県道・町道)道路整備により移動時間が短時間になり、また安全に車で走行できます。三陸道が全線開通すれば企業等が進出してくれると期待しています。被災前より生活がよくなっていくと思います。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	高台移転、公営住宅、自力再建のすべてが終了し、生活に安定感が感じられる。道路及びリアス線も震災前と同等以上になり便利になった。商店は減ったが生活に不便を感じない。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	住宅を自主再建したり公営住宅に入居したりと自宅を流した方達も落ち着いてきたのではないかと思います。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	被災前と変わらない生活になった。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	震災前と変わらなくなってきたと感じる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	地域にあった仮設住宅が全て撤去された。だが、無償で土地を貸した人が、仮設住宅撤去後にその土地が固定資産税の対象になるのは変だと思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	被災した方々住環境各地区ごとに高台移転、個人の再建しました。その他高齢住宅入居者生活落ちついてきた様子です。それぞれ生きていくため一生懸命働いています。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災により農漁業を廃業した方も新たな生活に慣れてきて笑顔が見られる様になった。離職された方も新たな職に慣れ始めた様子で先の話が出てくるようになってきた。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	生活自体は回復したものの新居を構えた人達の借入に関しては苦しい状況の様子が伝え聞かせる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	住宅の再建が進み、震災前の生活に戻っている様子が見られる。周囲の人達に聞いてもそのように感じているとのことだった。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	復興道路が開通し生活面で便利になりました。三陸鉄道がレール1本でつながるとより学生や高齢者の方々が便利になると思います。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	39歳以下	男	漁協関係の復興や三陸道の建設など順調に進んでいると思われず
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	道路整備が順調に思える。主要道路が新しくなり移動は楽になった。町中心部が再建中、駅舎も完成し町の形が見えてきた。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	田野畑村の住宅再建は県内でも一番早かったと思います。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	公営住宅や住宅再建した住宅に移った状況や仕事も定着している。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	被災前への回復というよりも、現状の課題解決のために行政も市民も動いている感があるので、回復のその先に向かっていくように思われる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	大船渡駅周辺のかさ上げ工事も終了し、接面道路工事も最終段階にある。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	復興道路整備等、日々その進捗が確認でき合わせて生活が回復していると感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	復興住宅の整備が進んでおり仮設住宅の入居を余儀なくされている方の全員の転居の日も近い。雇用の面では慢性的に人手不足で、完全な売り手市場。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設住宅に住んでいる方がまだいらっしゃる。住宅再建は足踏み状態にあると感じる。補助金を支給しても高齢の方は再建に踏み切れない。住宅よりも日々の生活費の工面でいっぱいだったり、相続する方が居なかったりと理由は様々。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	東日本大震災における住居等建物の被害については概ね回復しているものの、平成28年の台風被害による被害については回復の途上にある。各地区で住宅の再建が進む一方で災害公営住宅の建設はこれからとなっており、回復までには、なお時間を要するものと思われる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	私の住む高台団地は9割以上の住宅が完成し、駅や郵便局、コミュニティーセンターがあり、震災以前の平穏さを取りもどしつつある。しかし近くにある織笠小学校が町の小中学校統廃合計画により(2020年予定)廃校になることを考えると寂しさを感じている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	昨年11月に高台に家を新築し、引越しました。しかしこの地区は小学校や保育所等は整備されていますが、コンビニ等商店が一つもありません。まだ車で行けますが、行かれなくなった場合等を考えると、不安です。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	仮設住宅も出られ、それぞれの新しい住まいを見つけられ、落ちつかれたと思うので。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	田老地区の仮設住宅は、ごく一部を残して解体が進み、元の更地に戻りつつあります。このような状況から住まいの確保は出来たように感じられる。雇用の場を地区外に求める人が多く、買い物は通勤の途中や週末に行くなど、地区商業者は厳しい経営環境にさらされている。加えて、大手のコンビニエンスストアが進出してきており、人口3000人の地区に3つのコンビニが出現することになった。平成32年度には三陸沿岸道路が完成し、これまで地区市街地を縦貫する国道の交通量が半減するとの予測があり、当地区はいわゆる通過地になり、人口の減少、高齢化、商工業の衰退は火を見るより明らかである。この地区にとって未曾有の難局を打開するには、民間と行政の連携のみならず、もっと広く専門分野の機関、団体や個人をも巻き込んだ取組が期待される。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	陸前高田市は復興は8年で完結するとして計画実施が始まったのであるが、住民はそれを受け住宅確保済むだろうと思っていたが、現在市街地の居住するインフラの整備が遅れ、まだ自前の住宅に住めない状況にある。また市街地以外の一部の地域も都市整備計画が遅れ住宅再建に至ってない地域もある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	仮設に残っている世帯が2世帯になった。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	回復したとやや回復したの間であるが、「被災者の生活回復」は、限りなく回復したに近づいている。また「6ヶ月間の進捗状況」にあっても、限りなく回復したに近づいている。町周辺の住環境の整備はいち早く進んだが、町中心部の、高台移転地造成が遅れていた。災害復興道路の整備促進に併せて、高台移転地造成の完成の日が近くなってきた。嬉しい限りである。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	商店街、病院等に出るため不便を感じていましたが、町環線道が完成し大変便利になり生活環境が良くなりました
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	今住んでいる高台に引っ越して1年経過した。私は地区内では遅い引越しであった。周りは現状に慣れている感じを受ける。ただ、山田町は中心部がまだまだの状態である。復興のハード面が完成するのはあと2年はかかる。10年計画だったので予定通りと言えばその通りではある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	そちこちの仮設店舗はすでに解体され、それぞれの元地に建て又は貸店舗に移り営業を行っております。災害公営住宅は空室があるも皆さん入居し落ちついた生活を取りもどした様に見受けられます。まだこの仮設住宅にも2、3の世帯が残っており、災害公営住宅が再建か決めかねている方々です。再建も現金で建てる方はいなく、皆さん大きな支払を抱える事になるので簡単には決めかねている様子です。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	再建し仮設住宅から引っ越し人が多い。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	高台のところに住宅が次々と建っている。店が建ち並んできたので人も買い物に出ている。道路も橋も完成してきたけど、まだ仮設道路がある。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	野田林前浜の防潮堤が完成間近と見受けられる。防潮林の植栽も進んでいる。三陸復興道路が各地で繋がってきている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設住宅が取り壊しも進み、災害公営住宅や高台に家などが建ち、自己再建し生活が多くなったが、高台にスーパーがなく買い物が大変だと言う人がいた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	仮設の撤去により小学校の校庭が復旧してきた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	土地の整備が終わり住宅の再建が進んでいるから。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	自宅の再建が進んでいる様子が見られる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	仮設住宅はなくなり、それぞれ新しい住居に移ることは出来たと思う。ただ心の回復は目に見えないし生活状態はわからない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	道路工事が進んでいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	被災し別の市でのアパートを借りていた方が家を建て地元に戻ってきた。また、震災前と同じ様に漁業に従事できてきた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	再建されているお宅が増えたと、道路状況の整備も進んでいる。しかしまだ、自宅再建の見通しを立てられない方がいるのも事実。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	近所に住宅の建設が見られてきた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	仮設住宅の撤去も始まり、あともう少しというところまできている感じがする。しかしまだまだ仮設住宅で生活しなければならない方々もいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	以前と同じまでとはいかないだろうが、公園の仮設住宅がなくなりそれぞれの住環境のもとで生活が始まっているだろうと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	当事者でないので本当のところは分かりませんが、仮設住宅が撤去され復興住宅や団地の整備が進み移り住んでいることが見えるから。ただその費用面や住宅再建費用、再就職等での負担は想像できません。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	宮古の仮設住宅はなくなっているが、山田、大槌にはまだ仮設で生活している人々もおり、沿岸地域でも差があると感じる。防潮堤や道路工事は大分出来上がってきており、便利を感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	被災者だけの問題ではないが、雇用の面でいえば自分の勤める会社でも募集してもなかなか人が集まらない状態が続いていて、他社の状況を聞いても同じ様なところが多いと感じている。震災前と比べると明らかに人が集まりにくくなっていると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	箱物と言われる部分に関して、日々整備され大きく変わっていく事は感じる事はできる。ただ、被災者といわれる方の経済的格差が否めないと思う(特に高齢者の方たちの経済的な部分及び体力的に厳しい状況が伺えると思う)。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	戸建て住宅が多くなり「街」になってきたと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設住宅は半分以上が撤去される状態です。町中心部に再建される人が多くなってきました。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	三陸道の開通区間が広がったため、人・物の交流が以前よりは活性化されてきたと感じる。また、徐々にではあるが、生活にゆとりが見えてきた感じがする。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	生活面は大分回復したように感じますが、被災者の心のケアは継続が必要だと思います。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	三陸縦貫道や三陸鉄道リアス線の開通予定で、沿岸地区の交通網が充実してきている事を感じます。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	住宅は再建される方が多くなった。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	雇用関係の数字が良いが、人手不足による企業の業績への影響が心配です。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	住宅の確保はほぼなされたと思う。しかしその後、身体的には通院がちであったり、精神的にも震災以前より元気をなくしている方々が多く見受けられるように思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	建物等の様な目に見えるものは回復していると思いますが、人の心は後退している様に思われます。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	私たちの周囲では住宅が建たないで空き地が多いです。もっと住宅再建があればいいと思います。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	高台団地への自立再建、公営住宅への居住も終わり、平穏な生活を送っている。都市区画整備区域への住民再建も進んでいるが、元住民が高台団地への公営住宅への入居により空き地が目立っている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	高台の整備、土地整備は進んでいるが住宅の再建がまだなのか空き地がまだ目立つ。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	生活は回復しているのだけれども、地域全体の高齢化がどんどん進んでいる。体調を崩す人たちがここに来て多くなっている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	生活はほぼ落ちついているように見える
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	全体的に見るとインフラの整備など順調に進んでいると思うが、地域的な課題を考えると心の面の回復が進まず立ち止まっている感も否めない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	いまだ仮設住宅で暮らす友人がいる。今後のことについてもなかなか聞く(たずねる)ことができない状況である。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	最近では被災者や地域住民の生活に大きな変化はないように感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設住宅がなくなるのが完全に回復したという事になると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	仮設住宅も少なくなり、住宅再建、災害住宅に住む人が以前より多くなったと思う。仮設住宅がまだある。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	釜石市の人口減少(特に若い世代の転出)が進んでいる中で、雇用の確保ができていない。求人は多いが、パートやアルバイトの求人が多く生活を支えていけるだけの仕事はない。釜石市の将来にも不安あります。表向きの復興と生きていく上での復興、国と被災者との考えにズレがありすぎる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	仮設の撤去が進んでいるが、公営住宅へ移った方から家賃が高いとの話を聞く。自宅再建と思っても今後のことを考えると迷っているようだ。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤整備、国県市道整備、各種公共施設建設工事等ハード事業が盛んに行われている。宅地造成後の建設も活発に進められているが、一方で企業誘致や工場建設などの就労場所の確保、整備が遅延しており、人口流出に歯止めがかからない。働き場所が確保できないことには人が住みつかない。私も最近、区画整理地内に住宅再建をしたが、子ども達の姿も見えず団地内に人の賑わいが見られない。これから新しい地域で新しいコミュニティづくりが行われることになるが、混在社会の中でどの様な取組をしていけばよいか迷うところである。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	うちの地区は「漁業」が主力産業なので魚介類がたくさん獲れれば生活の回復は見込めると思う。仮設住宅もほぼ解体され、形はどうあれ確実に回復している。ただこれから先の安定した収入・生活は個人個人の問題なので、今までのような“行政に頼ろう”なんて気持ちはすぐに捨て、まずは金銭的に不安を感じないようにシンプルに生活していた。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	住環境は既に整い生活には事欠かない様子だが、少子高齢化に伴い就業人口が減り、加えて再建特需も終わり経済に活気がない。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	まだ再建していないところがたくさんあります
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	雇用は正社員が少なく、非正規が多いためこの後の雇用が確実に続くかわからないものに就いている方が多いと思う。復興景気はもうすぐ終わるだろうが、ずっと雇用はつづくのか不安を感じている人も多い。また高齢者が家にこもることが多いようで、復興住宅に引っ越したあとのコミュニティの形成は必要なものだと思う。
わからない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	仮設住宅が減ってきているという事実はあるが、被災者が自分たちの力で生きていける力が戻ったから出ていっているのか、出ていけと言われたから仕方なしに出ていっているのかは謎。仕方なく仮設を出てきた人たちがこれからちゃんとした生活を送れるか心配。

## II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	農家も漁家も被災前の水準に達していると思う。また、他の事業においても同じように感じます。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	新たな商業地域では集客があり震災前より賑わっているが、経営者の考え方が旧態依然なので、せっかくのチャンスを逃しているように見える。例えば震災前は日曜や休日は店を休んでいたのに、現在は日曜休日に人出が多いので休むことができない。このことを苦痛に感じているから、商売に繋がらないなど。行政にできることは限られているので、後は個人のスキルアップに復興がかかっていると思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	被災前と同等に回復した。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	水産業の基盤は完了したが肝心の魚が不漁だ。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	いつから「回復した」と言えるのかはわからないが、地元の水産業者等の工場(作業場)も立派であり、震災の影響は感じられないように思う。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	建設業を中心に活気が出ている様子が見られる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	震災前とほぼ変わらない状況で商売を行っている店が増えたと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	39歳以下	男	農林水産業も回復したと思います。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	本設移転を目指しても土地の価格が高騰しており、思うように計画が進まない。水産関係でも記録的な不漁が続いており、市場の稼働率は上がっていない。回復はこれから。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	本設が増えたが、商業地で空き地が目立っている。人手不足は深刻であり、震災前の水準には戻らない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	東日本大震災において被害を受けた水産業については回復が進んでいるほか、台風被害を受けた工場や事業所についても概ね再開に至っている。また台風被害からの復旧のため工事関係業種では状況が上向き始めているほか、工事業者の増加に伴う小売り、サービス業の一部も恩恵を受けているが、工事終了後の需要減少に対しては懸念も残る。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	近年の人手不足により就職先はあるので、震災前のような不況による就職難はないので、この先は良いと思う。しかし、少子高齢化による人口減が徐々に地域経済を暗くしていくと思うと、今後の地域経済の将来が心配である。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	Uターンして起業される方達もあり、街に刺激を与えている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	商店など再建される方はしている様だし、店などもそれなりに活気があると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	水産業の生産基盤整備はほぼ完了しているが、海域の貝毒により出荷出来ない状況が長期に渡ったため、漁業者に大きな打撃を与えている。また漁業が基幹産業としているが、上記の問題に加え、築地市場の出荷が大半であったため、豊洲市場へ移転したことにより、仲介業者の廃業者も多く、豊洲市場取扱も減少し、価格前年対比で下落傾向にあつおとで、漁業者への影響が出ている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	高田の嵩上げ地区には色々な店舗が建ち始めている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	スーパーが出来たので地域経済は回復していると思います。しかし、山を切り開いて高台地を作っていただきましたので、老人達ではどのようになるのでしょうか。残地だけが多くなるのではと思っています。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	仮設住宅での入居者が少なくなってきた。住宅再建が多くなりつつある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	水産業に対する基盤整備は完成していると思われます。今後の生産体制については後継者不足により地域経済の進展が心配されます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	商業施設(銀行、スーパー、飲食店その他店舗)が仮設から本設へと移ってきました。被災前に比べベテランにまわっているのが利便が良く、地域経済(商業)は回復していると思います。農林水産業も高速道の開通により流通が良くなり地域経済は良くなってきたと思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	漁業の皆さんは震災後すぐ立ち上がり海の掃除から始まり、一生懸命今の漁業へと繋げてきたと思います。漁業の皆さんが良くなれば私たちの生活も潤うと昔から言われ、大漁を喜んでいました。しかし漁業の皆さんは再建する方が少なく感じています。家族共に働いていますが、今を一生懸命で自宅再建はゆっくりという考えでしようか。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	建設業で雇用者不足のため、高齢者も働きに出ている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	農業は震災前同様に回復していると思う。生産額は若干上回っている。漁業は後継者不足・生産量の減少等回復したとは言えないが、生産者のやる気力強さを感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	高卒求人が増えた。しかしホタテなどが貝毒により出荷規制が続き、漁業者が大変な状況下にある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	コンビニエンスストアの進出が多く見られてきた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	新店舗も作られて、少しずつ賑わいが戻ってきた。仮設店舗で営業していた店も新しくつくることをあきらめてやめている店もあり残念。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	地域の水産業は以前のようにはいないだろうが回復の方向に進んでいると思う。活気が見られる。商業関係は両極端だと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	町自体がコンパクトにまとまって非常に暮らしやすくなった。買い物や飲食は地元でするように心がけている。特に飲み会などが、町の活性化につながるものと信じている。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	少子化もあるが、求人が増えていること、震災がどう影響しているの分かりませんが、水産業の水揚げ高が低いことが心配です。企業の方々のご努力は目に見えて分かり頭が下がる思いです。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	不漁が続き、漁業関係者の方が大変だと言っていた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	生活にゆとりが出てきた今だから、行政や住民一体となって、地域の将来像を論ずる時宜ではないか。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	地域経済はやや回復している。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	新しい店舗で営業を続けている方々もいるが、仮設店舗で頑張っている人たちもいる。農業は回復していると思うが、漁業は回復していないと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	商店街に活気が感じられる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	津波被災地を活用したトマト栽培の為、市が主導した企業誘致も進んでいる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	地域経済活動は活発とは言えないがこれが震災が原因なのかは判断できない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	地域経済の回復度の観点では、復興需要を取り込んだ業種は震災前以上に業績を伸ばし体質強化を果たしている。一方、全国的に問題となっている人口減少の問題が当地域にも色濃く表れており、復興関連需要の減少と合わせ地域経済の先行きに不安を与えている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	経済状況は復興前の水準には達していない。宮古の魚菜市场から魚屋さんが抜け、閑散としている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	回復はしてきたかもしれないが、実際の収入面などでは実感が湧かない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	経済は回復基調なのかもしれませんが、震災後の水産業は不振続きなのが気に掛かります。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	復興工事の仕事がだんだん終わってきて、これから少しずつ暇になり働く場所がなくなると思う。ちなみに家の前に公園を作っています。嬉しいです。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	漁業に関しては震災の影響どうのこうのではなく、温暖化の影響か、不調である。農業に関しては回復していると思うが、シタケに関しては放射能の影響が消えたとは言えないかも。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	漁業について、養殖施設、漁船、漁港等の復旧は、なされた。従事する人達は一生懸命働いているが、ホタテの死滅、天然物のウニ、アワビ等はイソヤケで不漁、イカ・サケも不漁で活気がない。震災からの復旧はしたが、全般に不漁で地域経済は落ちている。また、農業について、浸水地域の水田は復旧希望は極少で、自家消費用畑作物も自家用程度だが、震災前同様まで回復した。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	ホタテの養殖も順調に進み、地域ブランド名で売り出し元気で頑張っている。新規就農でいたけ栽培に取り組む若い者が見受けられる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	ワカメの失った販路はまだ回復していない。漁業の人手不足を感じる。農業の担い手も減っている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設住宅の取り壊しが進んでいるが、住宅の再建が進んでいないようだ。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	水産業は回復しているけれど、台風の被害が未だに大きく残っており、それに対する国・県の助成があまり進められなかった影響があり、回復には時間がかかるのではないか。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	特に良くも悪くもあるというような事はあまり聞かれないので、何とも言えないけど、悪い話が聞こえてこないのは少し良いのかなと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	極端な変化は見られない。各方面で担い手不足など、近い将来に起こる問題への早い段階での対策が必要。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	市の人口が減少しつつある、復興工事(高台)は進められている段階であるが、働き場所はあるのか、疑問である。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	あまりよく分からないが、様々な分野で頑張っており産業を活性化しようとしていることを感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	隣町と比較して、ここは商業面、飲食店の数などで遅れているように感じます。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	正直わかりません。漁業の不振の影響は皆、必ずあると感じます。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災の影響だけではないが、水産業は明るいニュースがない。回復させることと同時に別の新しい考え方を入れなければ、このまま衰退してしまうのではと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	よく分かりません。ただ震災後は海が変わってしまい、水産物が多く取れないと聞きます。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	ラグビーワールドカップに向けて色々な面で活気づいてはいるが、それが多種の職業に良い影響を与えているかどうかは伝わってこない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	大きな変化は感じない。被災とはまた別の意味(過疎化、若者の減少)で、地域経済の活性化が必要と思う。市では様々な面で経済の活性化に向けて対策を講じているように感じるが、それが目に見える形となって効果が出ているかと言われるれば実感はない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	新築の家を建てている風景も近くでは見られなくなったが、空き地が多く寂しい感がある。宮古の魚菜市场を見ても店舗が減ってる事や改修工事の予定と聞いているが、景気が良くなっているとは感じられない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	経済的に安定しているから人が集まらないのか、自分では何とも判断ができない。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	高台に新しいお店を開店させて営業しているのが増えている。最初はお客さんが増えてはいるが、時間の経過とともに減っているような気がする。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	スタジアムや体育館、駅など基盤が整ってきたが今後「建てました」で終わらないようにしなければ回復は見込めないと思う。復興道路の開通でチャンスはあると思うのでビジネスチャンスへの支援に期待したい。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	男	公共事業を中心に各種工事が進められているが、工事関係者が引き揚げ後を想定すると地域経済への影響が著しいと考える。郊外型商店街が造成され賑わっているが、農林水産業が活性化し、製造加工業と結びついて相乗効果が図られることになると、就業機会の増大が図られることになる。企業誘致も重要だと思うが、併せて人員(従業員)確保も非常に重要な課題である。先日の新聞記事に掲載された元女性県職員の見習い漁師転身を感じしながら読んだが、情報化社会の中で「陸前高田・三陸の魅力」をPRするなど積極的に取り組むべきである。また、「アオノリ陸上養殖スタート」も素晴らしい取組と思います。国・県・市が一体となり地域経済の回復に取り組んで欲しい。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	工事業者は少なくなってきたと見え、県外からの人の出入りが少なくなった。町内の仕事も限られている為、人が住みつかない流出傾向。水産資源もまだ十分に回復しておらず、不漁が多い。地場産業としては震災前から収益が下がってきていた傾向があまり変わった様に見られない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	人口減少と後継者不足の影響が大きい。大型スーパーが賑わっているようでも空きテナントが多く、地元小売店の経営も厳しい。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	漁獲量が少ないと感じています。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	新聞を見ると漁業が心配。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	やっぱり魚が獲れないと…。復興需要もほぼ終息をむかえ、震災前の本来の過疎の町に戻り、さらに人口流出となると町自体近いうちに無くなるんだと思う。自動車専用道路が開通してからがポイントとなるのでは。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	農地整備や船舶配備は完了しているが、少子高齢化に伴い就業者数が減少し、以前同様の経済活動にはほど遠い。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	建築、建設、土木などは地域経済の恩恵があるが、一次産業は一部の人などはうまくやっているが、まだ一部の人たちはいろいろ大変だ。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	最近は経済の回復したという実感が無い。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	一部業種、特に建築、土木関連については回復しているように思われるが、それ以外の小売業の多くは震災の影響とその他の要因によるものと思われるが、厳しい状況にあると思われる。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	3.11東日本大震災襲来以来、海況の大変化となったようである。併せて地球温暖化の影響か、暖海域の魚類が収穫され基幹魚種である鮭、スルメイカ魚等が不振で定置漁業の経営を苦しめている。浅海漁業にあって、磯焼け現象により海藻不足は、ウニ・鮑の成育に多大の影響をもたらしている。昨年12月23日完成した柳沢線細浦線は、山田市街地の動脈路線であり、様々に波及効果が期待されている。JR山田線〔宮古⇄釜石〕が復旧になり、併せて新装陸中山田駅舎完成、リアス線に移管。来る3月、開通の運びとなっている。復興の喜びを感じる。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	農林水産業は、すべて浜の漁は不漁です。かつてないぐらい地域経済は大変苦しい状態です。浜の不漁のためきびしい。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	まだ再建が出来ていないところがあるため。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	水産業はイカなどの不漁は続いている。農作物は新たなりんごの品種がだんだん定着はしてきているが、どちらもあまり活気を感じられない。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	建設業などは復興工事などで仕事はあるのではないのでしょうか。水産業は養殖は順調に回復しているようですが、定置網での鮭の水揚げが少ないようです。震災だけが原因ではないと思うが、このままでは定置網だけで生活している人の生活が大変です。自然相手の仕事なので仕方ないところもありますが漁師の努力だけではどうにもなりません。

### Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容をとりまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤、県道崎浜港線、主要地方道大船渡・綾里・三陸線の整備も完成、県道背後の高上げも終了した。高台への集団移転、災害公営住宅、自力再建も全て終了した。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	防潮堤、避難施設などが完成し加えて避難道の機能も兼ね備えた三陸北道路も完成した。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	防災設備はもちろん、地域の人の意識も高い。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	防潮堤、避難路、また最近開通した復興関連道路など計画にあったハード事業はほぼ完了したと思う。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	湾口防波堤の完成等インフラは確実に整備が進んでいる。台風による被害もあり地域ごとにまちづくりは進められている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	道路、防潮堤は整備されつつあるが、完全ではない。避難方策の周知徹底にもっと力を入れてほしい。防潮堤を過信してはならない。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	防潮堤については修復が完了しているが、台風被害を受けた河川の堤防については、工事が今後本格化してくる予定となっている。しかしながら河川の堤防工事にあたっては用地の買収を伴うものも少なくなく、地権者の理解を得ながら進めていくことは相当の時間を要するものと思われる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤や国道、高速道路が完成に近づいており、安全なまちづくりが進んでいることを実感している。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	工事業者の皆さんの日々の努力によって目に見えて進んだように思われます。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤によって今まで見えてた海が見えなくなってきたので、整備されていることを実感している。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	かなりの範囲で防潮堤が出来てきました。それに引き換え、海が見えなくなり淋しいです。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤(インフラ)整備が進み以前の2倍以上の高さになり、漁業者の漁港利用に不便をきたしている。また海水浴場への出入りが門扉が少なく、完成後利用者に大きな影響がある。そして障害者にとっては海水浴場出入りが出来ない状況にある。当市はノーマライゼーションという言葉のいらぬ町づくりを目指しているが、現況はかなり異なる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	工事もまだ途中でですから達成とは思いませんが、高台であっても高台の番号によって海面からの高さが約15m以上の違いがありますので、住民の声(ぼやき)があります。高さの説明が無いのでね。小生は高上げを希望ですからぼやきを聞くだけです。一般住民にはもっと説明をと思います。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の工事は進んでいるように見えますが、水門の工事がまだまだかかりそうですね。昼はあまり不安は感じませんが、夜は車を運転していて不安を感じます。その理由は、防潮堤が繋がっていないこともあります。避難誘導看板が少ないと思います。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	嵩上げ工事も大分終わり、自宅再建が進んでいる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	尊い命の安全のための被災地防潮堤工事の全容がまだ見えてはいないが、巨大な万里の長城を思わせるようになってきた。海の見えない防潮堤に異様さを感じる。私たちは海のそばで生まれ、海に親しみ海で育ってきた。巨大防潮堤により、海の自然が遠くなってきていることは事実である。良い方に向かうか、悪い方に向かうか、今後の子ども達の生き方が、どのようになるのだろうか、予測不明である。防潮堤工事に併せて、国道復旧工事が行われており、かなり進んではきたが、まだ先のようなのである。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	高台住宅の整備が進んでいることで津波に対しては強くなっていると思う。道路に関しても整備が進んでいる。ただ、防潮堤はまだ半分ほどしか整備できていないと思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤工事、水門工事は進んでいます。全部完成まであと2、3年かかると思います。完成すれば今まで襲った津波の大きさをあれば被害を防げと思っています。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	嵩上げの出来た安全な町中心部が出来上がり、商店、事務所等がそれぞれの元地に再建し、営業致しております。最高の土地に出来上がり、先に公営住宅に入居した人、また山手の安全な場所に再建した方々は待っていればよかったとの後悔の話も耳にしました。1人暮らしの女性から相談を受けました。持ち金で再建するかお金を持って公営住宅に入るかと。先日、彼女待望のお家拝見、家の中は彼女なりにきれいに飾り生き生きと動いておりました。彼女曰く「仕事を見つけて働かない」と前向きに元気なので私もよかったと安堵致しました。我が町の中心部の高上げは最高の土地に出来上がり今盛んに建築工事が行われております。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	復興道路の工事が少しずつ形が見えてきた。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	三陸復興道路は半分ほど開通している。水門の完成にはまだまだ時間がかかりそうだ。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	国道45号線の復興道路が開通してきた。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	女	防潮堤が少しずつではあるが完成に向かっている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤や道路の整備等行われている所である。学校における防災教育、地域における防災訓練等以前よりもしっかりと行われている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	高台移転や防潮堤の整備は順調に進んでいると思います。あとは防災無線やトンネル内のラジオ放送等が確実に聞き取れるような設備の拡充が必要だと思います。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤等の建設が着々と進んでいるから。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	三陸縦貫道路の工事が着々と進んでいるので。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	防潮堤・嵩上げの整備が進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤も完成間近になっているのが目に見えて分かるようになった。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	両石地区のような思い切った高さの嵩上げならば新居を構えてもいいと思うが、中途半端な嵩上げの場所での新築にやや不安を感じる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	高台移転も進み、道路も整備されてきた。あとは非常時にはまず逃げる。次がないことを願っているが、万が一のときは1人の犠牲者を出さない町にしたいものだ。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤もだいぶ進み、復興道路も繋がっていき完成区間が多くなっていると実感しています。(仕事がなくなるということは整備が進み終わりになっていくということで良いことではありますが、その反面仕事が減っていくことで人手不足になり景気面で心配です。そうした対策も必要と思います。)
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	まだ整備が継続している地域(場所など)も見られるが、防波堤等の整備も順調に進んでいる様子が見られる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	日々、海岸線も通るたび海との境目の大きく防波堤が建設整備されている事が分かる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	堤防の建設が進んでいるのを見ている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	被災地域の道路整備や老朽化が進んだ建物の取り壊し・建て直しがどんどん進められているように思える。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	水門の工事現場を見学させてもらったがあれだけ大きいものだと思えば時間はかかるだろうと思った。やはり防潮堤や水門がなくても「逃げる意識」を失わないようにしなければならぬと思う。避難路を視やすく大きく掲示することは難しくないと思うので、今すぐできることを考えてほしい。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の工事が進んでいる。三陸道の整備も進み目に見えて進んでいるようです。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	39歳以下	男	防潮堤も完成し災害に強い安全なまちづくりに達成したと思う。7年の月日がかかって今復興道路も工事が進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	近くの防潮堤も完成した様子で、かなり安心感があります。工事されている方々にも感謝したいです。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	男	海岸域の防潮堤や河川水門が計画通りに整備され、完成が間近だと感じられる。広田湾一帯が防潮堤で囲まれることになる。「災害に強い安全なまちづくり」については高台造成地に学校や保育施設が移転建設され、併せて住宅地への移転新築も盛んに行われている。また嵩上げ地への住宅等の建設も進められているが、被災地の嵩上げ地ということで、住宅建設の出足が鈍いように見受けられる。大震災前は沿岸地区全域に「自主防災組織」があり、毎年訓練を実施していたが、コミュニティ組織が解散し新たな街づくりが始まったばかりなので、少し組織形成に時間を要するものと思われる。ハード面では確かに震災前と比べて防潮堤や橋屋梁などが強化され、国道45号船も津波対策を兼ねた構造となっており、安全性が増している。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	海がみえないほどの高さの防潮堤があちこちに建てられている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の整備が目に見えて進んでいる状況がうかがえる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	防潮堤整備を進めている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	堤防の建築などが進み、随分、町の感じも変わった。その分「構造物があるから安心」との感覚もだんだん生まれてきているように思うので、これからも定期的な避難訓練など、住民の防災意識の啓発活動を続けていくべきだと感じる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	個人レベルでの防災に対する意識は高いとは言えなくなってきた。今後ソフト事業の取組が重要になってくると思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の工事は地域により進捗にばらつきが見られる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災前よりはるかに堅牢な防潮堤、水門工事は完成が近づいている。三陸道の開通により国道45号線の迂回路がない状況が解決される。山で分断されていた小槌地区と大槌地区を結ぶトンネル工事の完成も近づいており、国道45号線が不通となった場合でも両地区の行き来が可能となる。住民の防災意識は時間の経過とともに薄らいできてきていると感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	女	復興道路の整備などが思ったより進んでいない印象。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	最近あまり進んでいる様には見受けられない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の工事は進んではいるが、まだ完全ではないから。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	私たちが生活している地区は国道45号の整備、防潮堤水門等安全なまちづくりについては遅れている感じです。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	工事がまだ終わってない所ばかりで、まだ何とも言えないです。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	国道45号線の工事が遅々として進んでおらず、迂回路の使用を強いられ不便を感じている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	まだ工事中。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤工事がまだで道路整備、避難道路が進んでいない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤は進みつつあるが、これが実際にどれほどのものかわからない。今は前回の津波で流出する範囲内には住宅はない。作業場くらいである。何を守るのか？

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	まだ防潮堤が完成してないので。ただ少しずつ出来上がっているの、あと1年位で完成するのかなと思う。ハード面はいいけどソフト面でどんな高い防潮堤も完璧ではないので避難する訓練とか周知が薄れているので必要だと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	工事は進んでいるが見慣れすぎて「安全性が高まって安心」という気持ちを感じる事がなくなった。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤が出来てきたと思うから。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	自分のまわりの防災設備は一応整ったように見える。人々の意識の高さを維持していくことが課題であると思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の工事すら、未だ完成していません。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	ハード面の工事は進んでいる。しかし防災意識は後退している。どんなに防潮堤を整備しても結局命を守るのは自分だということが分からなければまた犠牲が出る。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の建設完了まで数年かかる見通しである。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	ハード面の整備は進んでいるが、安全なまちづくりに繋がっているかが疑問。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	復興道路(三陸縦断道路)の工事は着実に進んでおり、通勤時に通るたびに目にしている。その際感じるの、道路建設のために多くの山や木々がどんどん減っていくこと、道路が完成した後はますますこの地域に人が立ち寄りなくなり、逆に都市部へ地域住民の足が向いてしまうのではないかと、ということである。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	嵩上げ、防潮堤、道路は半分出来上がってきたが、せつかく海岸にある道路も防潮堤で全く海の見えない風景となり、残念で淋しい感がある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	市全体を見ると工事が完了したところもあり、ゆっくりではあるが確実に進んでいるのだと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	防潮堤や三陸道の工事は進んでいますが、工事が進んだからと言って安全なまちになったとは言えないと思う。万が一災害発生時の住民の避難する仕組みや避難に対する意識をしっかりと考えていく事が必要と思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	地震や風水害の多い今年だった。被災地の皆さんは大変な思いをしているだろうと感じはしても我が足元を見ることはほとんどない。あの震災はすでに遠い過去のことになったのか。地域連携の形はあるものの中味はあるのか。洪水や土砂災害時には使用できない場所も避難場所として指定されている。福祉避難所として指定されているものの備蓄されたものが果たして今使用できるのか、何人の受入が可能といった情報もない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	道路工事などのハード面は進んでいるが完成とは言えない。防災意識への取組が見えてこない。ラグビーワールドカップで忙しいとは思いますが、市全体で取り組んでほしい。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	防潮堤の工事は進んでいることが目に見えて分かる。浸水した地区に一般住宅や公営住宅などが建てられているが、安全なのかと心配になる。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	港湾防波堤工事がいよいよ本格化し、今後目に見えて進捗が感じられると思います。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	まだ未完成なので。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の建設工事や田代川水門工事が進みつつあるがスピードが早いとはいえない。自然の動きは予測が難しく、新たな街や工場等が再び被災しないよう早期の完成を願っている。防災に向けた取組については行政の主導が鍵であり、より積極的に地域の活動を後押ししてもらいたい。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	震災前に私が住んでいた地域公民館には公民館の建物がない。地域には130世帯ほどが暮らしており、震災後もう少しで8年になるが、公民館が無い。震災前は公民館があって活動も活発だった。そのお陰で海辺なのに犠牲者も少なく避難所の運営もスムーズに行えた。行政は建設をこれまで3度勧めたが公民館長が断った。もう補助金や助成金も見込めない、高齢者世帯が多いので寄付集めもままならない。私は区画整理で高台に引っ越して別の地域で暮らしているから口出しは出来ない。名称だけの公民館はあるが、施設がないため活動は以前と比べて殆ど行っていない。これでは災害に対する準備が出来ない。地域のつながりが太かった地域は災害に強い。以前住んでいた地域の皆さんが不憫だ。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	防潮堤の整備はまもなく綾里白浜海岸完成するようです。災害前と同じ高さにした、そのかわりに打ち寄せる波対策。崖を工事することにしていたのですが途中中止になりました。ぜひ工事で安全をお願いします
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	工事は進んでいるが進捗状況が見えないため、よくわからない。小損害と判断された橋の復旧工事の入札辞退により、見通しの立たない被災場所がまだある。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	国道45号沿いに色々な建物が建っているが、いざ災害があった時どこに逃げればいいのか明確に避難する場所がない。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	何をもちて達成したか分かりづらく、現在は途中なのだと思う。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	防潮堤の工事が他市町村より遅れているのではないのでしょうか。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	災害に強いまちづくりをしているとは思えられない。

## 平成31年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

平成31年2月14日  
岩手県 復興局 復興推進課

〒020-8570  
岩手県盛岡市内丸10-1  
電話 019-629-6945

**【自由記載集:掲載にあたって】**

- ・自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。  
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の変換など、表現をあらためています。)